

# 株式会社ジェイコム東京 東エリア局・南エリア局・西エリア局

## 放送番組審議会 議事録

平成 28 年度（2016 年度）株式会社ジェイコム東京番組審議会は、2017 年 2 月 21 日(火)ジェイコム東京 東エリア局にて開催された。

### 【放送番組審議会委員】

宮澤 誠一 様  
臼井 素子 様 代理) 大杜 千晃 様  
山田 隆史 様 代理) 正月 篤司 様  
松戸 克彦 様 代理) 上原 弘之 様  
永田 浩三 様  
堀田 純一 様  
三谷 啓子 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

### 【質疑応答・意見交換】 進行：宮澤会長

#### ■ 練馬区との取組について

##### 委員

「デイリーニュース」では練馬区の話題やイベント情報を取り上げて頂いて感謝している。

告知のために担当職員や主催者がスタジオ出演をしているが、当事者にとっても良いモチベーションになる。

今後はホームページや YouTube など視聴できるようになると、より多数の視聴が見込めるのでは。

「練馬人図鑑」は毎回ゲスト情報が更新されるのを楽しみにしている。

初番組化となった「練馬新能」は収録だったが、生中継を希望する声も届いている。ただ、3 時間の長丁場なので飽きさせない番組にするのは難しいかもしれない。

「こぶしハーフマラソン」は Twitter や SNS との連動で盛り上げてもらいたい。

「中学生駅伝」は保護者も喜ぶし、未来の五輪選手が輩出されるかもしれないので非常に良かった。

## 事業者

YouTube は検討中だが、画面に映り込んでいる不特定多数の方々の肖像権が問題となっている。モザイク処理などで対応を考えている。ただ、FOD での配信は行っており、今後はサービスの一環、かつ報道側面からスマホアプリなどで「デイリーニュース」だけでなく「人図鑑」や特番も配信していきたい。

### ■ 杉並区との取組について

#### 委員

広報番組の認知度が低く、15 年続いているのに約 2 割の区民しか認知していない。

もっとコミチヤンの魅力を広める活動に力を注ぐべき。

「デイリーニュース」では区の情報を出してもらって感謝している。杉並区の住民は新宿など近隣のエリアでの活動も多いので他エリアの情報への需要も高いはず。他エリアの乗り入れ放送を検討してみてもどうか。

## 事業者

昨年の指摘にもあったが、認知度を上げるのが目下の課題で今年はプロモーションに力を入れてきた。

例えば「高校野球」や「中学生駅伝」では選手全員にポスターを配布して、その家族に訴求。さらに、会場でのサンプリング、営業車や SNS での拡散を行った。しっかり効果測定をしていきたい。

「デイリーニュース」は地域密着がコンセプトなので乗り入れは考えていないが、今後はスマホアプリとの連動を検討している。案件によっては広域番組のように他エリアでもご覧になれるようにしている。

### ■ 和光市との取組について

#### 委員

「デイリーニュース」では地域のイベント、図書館や公民館などを取材してもらってありがたい。

地域の方が出ていると視聴につながるのでは是非 和光市でも「人図鑑」を作ってもらえないだろうか。

また、今年日本で初めて「アジア・エアガン選手権」が和光市で開催される。東京五輪の射撃が朝霞駐屯地で開催される予定なので、その盛り上げも含めて取材や特番化を検討して欲しい。

今年から秘書広報課がシティプロモーションを担うことになったので、引き続き J:COM と連動していきたい。

## 事業者

「アジア・エアガン選手権」は「デイリーニュース」での取材予定。「人図鑑」も前向きに検討している。

### ■ 時事的な事象から社会性のあるテーマへ

#### 委員

最近のコミチヤンの充実ぶりには驚かされており、細かな情報出しに感心している。

欧米では「Post-Truth」「Alternative-Facts」といった、事実でもないことが事実になってしまうという語句

が流行しているが、民放各局も独自性が薄れる中で地域ニュースの需要は高まっているのではないか。

J:COM にとっては大きなビジネスチャンスかもしれない。

府中では経営再生中の東芝が撤退するのではという報道がされる中、高野市長が「ラグビーチームは残して欲しい」と会見で語った。本件の行方は地元住民の関心が高いだろう。

府中駅前の再開発や伊勢丹府中店の見直しも話題に上っている。調布にも巨大シネコンができるので、都市間の商業的な競争が生まれてしまうのではないか？

また、国分寺駅前には超高層マンションが2棟建設予定であり、府中もマンションの乱立により1学年7クラスになるなど待機児童問題を含めて地域住民が知りたい事象が増えている。

こうしたNHKや民放が扱わないニュースを週1回でも良いので継続的に特集していったらどうか。

## **事業者**

時事ネタの地域への変換に取り組んでいる。例えば、振り込め詐欺が増加した場合、各地域の状況を発信していく。市外で働く方々が帰宅後「その日 自分の街はどうだったか」わかる番組づくりを心掛けている。ご指摘のとおり、各街が抱える関心事は率先して扱うべきだと考えている。

## **委員**

今後は時事的な案件だけでなく、社会性の高い事象も取り上げると良いのでは。

### **■技術力の強化と新たな試み**

## **委員**

DVDを拝見したがカメラがブレしているところがあり気になった。練馬区のCMや薪能は素晴らしかった。

スタッフ数の問題もあると思うが映像が揺れている個所はステディカムを使うなどすると良いのでは。

「人図鑑」は視聴者との距離が近く、手作り感があって好感触。「阿波踊り」は目線が低く、子供や座っている方からの視点のようで良い試みだと感じた。

リオ五輪の放送は楽しく拝見したが、3年後への取り組みはどうしていくのか？

## **事業者**

カメラのブレは改善していきたい。技術力の向上を目指す。

オリンピックに関しては未定ではあるが、地元から輩出される未来のオリンピックを追いかけていきたい。

地域での機運醸成もコミチンの使命だと考えている。

### **■事象を追い続けて**

## **委員**

「デイリーニュース」は取材にたくさん足を運んでいると感じた。最近のテレビ業界は取材が減ったが、やはり事

実は現場にある。

地域メディアとしては、事象を一過性のものでなく、地元目線でどうなったかまで追っても良いと思う。

例えば、福岡の市民は陥没事故の復旧過程、再発の可能性や検証結果を知りたいだろう。

新座市の東電火災でも同様のことが言えるのでは。

「新能」はプロとして丁寧に伝えようとしていて好感が持てた。マイナースポーツの解説をするように、能の用語や決まり事を視聴者に噛み砕いて伝えてあげるとさらに見やすくなる。

武蔵大学ではオープンキャンパスから生中継で公開生放送をして頂いた。若い世代と J:COM がつながる施策を増やしていくと良いだろう。学生たちもプロのスタジオに参加させて頂いて励みになっていた。

「人図鑑」には可能性を感じる。名のあるゲストだけでなく、市井の方から逸材を発掘していくと面白い。

魅力を引き出す質問が求められるのでスタッフの能力も試されるし、育成の場にもなる。

## **事業者**

実際に福岡の J:COM では毎日取材を行い、開通情報まで詳しく追っていった。再発防止の検証のためにも取材力を強化していきたい。「人図鑑」は若手中心に動いている企画。若い世代との交流も進めていく。

### **■ 編成方針に関して**

#### **委員**

大学で教鞭を執っているが、最近の学生は新聞もテレビも見ず、スマホのみという人が増えている。

情報の入手手段が多様化していく中、今後はテレビの放送だけでなく他の視聴方法も積極的に増やしてもらいたい。

#### **事業者**

従来のテレビ放送に加えて、スマホやタブレットなど他媒体の活用を検討している。

#### **事業者**

前年に比べて求められている内容に深みが増したと感じている。生放送の即時性に対する要望も高い。

今後はさらなる認知度や魅力の向上につながるよう、取材力・構成力・調査力を上げる必要がある。

都市間の競争や高齢化社会、認知症の問題など時事ニュースから社会性の強い題材へシフトするにはスタッフのレベルが上がらないと地域のニーズに応えられない。熊本地震への対応で緊急時の放送には強くなってきた。高いハードルだが技術や認知度の向上により、もっと地域に愛されるメディアになれるよう改善していきたい。

以上